



Sapporo Gakuin University

学園広報

1998. 12. 10 No.71

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111

商学部開設30周年記念講演会



日本を建て直すにはどうするか
日高義樹氏(国際ジャーナリスト)

商学部開設
30周年記念

特別講演会

「日本を建て直すにはどうするか」

国際ジャーナリスト 日高義樹氏を迎えて

札幌学院大学は、第二次世界大戦敗戦直後の、未だ世情混沌とした一九四六年、札幌市中心部の中島公園池畔に創立された「札幌文科専門学院」によってその歴史を刻み始めました。そして一九五〇年「札幌短期大学」となり、さらに一九六八年、四年制大学としての「札幌商科大学(商学部商学科・現札幌学院大学)」が開設されました。

したがって今年は大開学三十周年であると同時に「商学部開設三十周年」を迎えることとなりました。

商学部ではこれを記念して「商学部開設三十周年記念講演会」を企画し、八月三十一日(月)午後一時三十分から五〇年記念館S.G.Uホールで日高義樹氏「写真」を講師に迎えて開催しました。日高氏は、元NHKアメリカ総局長であり、現在ハーバード大学ハドン研究所の主席研究員として、日米関係の将来に関する調査・研究の責任者も務めておられる世界的な国際ジャーナリストで、テレビで放映中の「日高義樹のワシントン・レポート」でもお馴染みの著名な方です。

当日は平日の午後にもかかわらず、一般市民・教職員・学生等、約五〇〇名の参加があり、熱気あふれる講演会となりました。

講師の記念講演に先だって、狩野学長から本学の歴史の紹介とともに、「商学部は、現在の本学の母体であり、極めて豊富な学問領域を持った土台である」、「学生諸君は、商学という複雑で体系化しにくい学問にこれからの挑戦してほしい」との挨拶がありました。

続いて蔵田商学部長の挨拶と講師紹介の後、日高氏の講演に入り、講演テーマ「日本を建て直すにはどうするか」

について、熱のこもった話がなされました。現在の不況は、日本の地価急落が元凶であるとし、この不況を抜け出す第一歩として、アメリカの好景気を例に取りながら、「ホワイトハウスやウォール街は、日本人の勤勉さや律儀さは世界的にみても超一流であると評価しており、我々はこのことを再確認すべきである。そして一人ひとり、如何にして自らの資産を守るべきか、考えることが重要である」と説かれました。講演はテーマの枠を超え世界各国の話題を交えたもので、氏の国際ジャーナリストとしての面目躍如たるものでありました。

記念講演会は、出席者からの熱心な質問と講師からの丁寧な回答もあり、予定時間を大幅に超える午後三時四十分、大きな盛り上がりの中幕を閉じました。

キャンパス見学会 相談コーナーに人気

八月二十九日(土)、本年度のキャンパス見学会が開催された。当見学会は、来春に受験を控えた受験生や教員の方々に諸施設を見学していただくとともに、本学の入試制度や入学後の学生生活の疑問に答えることを目的として行われるもので、今年で十一年度を迎えた。本年度の参加者は過去最高だった昨年に迫る三八一名で、前日の大雨による交通の乱れなどを考慮すると、ほぼ昨年に匹敵する人数といえる。中には埼玉県や静岡県など道外からも多数参加があった。

当日は、全体説明会・ビデオ上映に引き続き、就職情報センター・情報教育実習室・CALL教室・図書館等諸施設を見学していただいたほか、入試・就職・学生生活・各学科内容についての相談コーナーを設けて受験生の相談を受けた。

本年度も相談コーナーには多数の参加者が集まった。本年度の傾向としては、学科内容相談コーナーへの来場者が例年以上に多く、相談内容もより具体的になってきているようである。施設見学においては、昨年工事のため見学

できなかった図書館も、本年度はリニューアル後の施設を見学することができ、受験生からは「これだけ多くの本が自由に閲覧できるなんてすごい」との感想が寄せられた。

アンケートを集計した結果、多くの参加者からは「参加してよかった」「大学の雰囲気があった」などの、ほとんどの回答が好意的なもので、中には「キャンパスを実際に見て札幌学院大



一般入学試験日程

学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表
法学部 法律学科	1月7日(木)~ 1月21日(木)	2月7日(日)	本学 帯広 青森 仙台 東京 大阪	2月24日(水)
経済学部 経済学科		2月8日(月)		
社会情報学部 社会情報学科		2月9日(火)		
人文学部 人間科学科		2月10日(水)		
商学部 第二部 商学科	2月24日(水)~ 3月3日(水)	2月11日(木)	本学	3月11日(木)
人文学部 英語英米文学科		3月8日(月)		
商学部 第一部 商学科		3月8日(月)		
商学部 第二部 商学科 (第二期試験)				

大学入試センター試験利用入学試験日程

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表
商学部 第一部 商学科	1月7日(木)~ 1月26日(火)	本学独自の試験は課さない	2月24日(水)
経済学部 経済学科			
人文学部 人間科学科			
人文学部 英語英米文学科			
法学部 法律学科			
社会情報学部 社会情報学科			

1999年度 エクステンション講座

資格取得、夢の実現をサポート

- 英検講座
- 英会話講座
- FP(ファイナンシャルプランナー)初級資格講座
- TOEFL講座
- パソコン講座
ワープロ講座
- 宅地建物取引主任者講座
- システムアドミニストレータ初級対策講座
- 秘書技能検定講座
- 法律職関連講座
(基礎講座および法律職講座)
- 国内旅行業務取扱主任者
一般旅行業務取扱主任者講座
- 公務員受験対策講座
直前講座
- 公務員受験対策講座
年間講座

※開講予定を含む

'99(平成11)年度

'98就職戦線 内定者からのメッセージ

就職協定廃止2年目で、採用の早期化、長期化、分散化の傾向がくつきり現れた今年の就職戦線。厳しい環境のなか、志望先の「内定」をゲットした学生に体験記を寄せてもらった。これから本番を迎える3年生も就職活動のヒントをつかんでほしい。

Message 1

ペーパー試験で高得点を

国家公務員II種合格 北海道開発庁北海道開発局配属
商学部商学科4年 山形 浩史



第一志望の官庁から内定を獲得するためには、官庁訪問を成功させることが不可欠です。国家公務員II種試験の一次試験合格者が行う官庁訪問と民間の就職活動の大きな違い

Message 2

面接も自分のペースで

㈱日本交通公社 (JTB) 内定
経済学部経済学科4年 嶋津伸二郎



私が半年以上にも及ぶ就職活動を通して感じたのは、「就職活動は全て自分次第」とい

Message 3

自己分析を徹底的に

㈱アイワード内定
法学部法律学科4年 池田 朋貴



就職活動において最も重要なことは、「自分」という人物をしっかりと把握すること

以上が私がやってきたやり方です。これが良いのか悪いかわかりませんが、自信をもって臨んだのが好結果に結びついたと思います。周りには「会話」だと捉え、ありのままの自分で対話をしようと思

えましたが、緊張のせいもあり思うように受け答えができず、私は自己分析を一から徹底的にやり直しました。自己分析がしっかりとできていれば、どんな難解な質問をされても不思議と答えが出てくるもので、いつの間にか面接を得意とするようになっていきました。

就職活動の一つの機会に、自分のこれまでの人生を見つめ直し、自ら向き合うことができたことは、単に就職活動に役立つだけでなく、この先何をするうえでも自信になるでしょうし、来春より社会人となる自分にとって意味のあることだったと思います。

貯蓄や不動産、保険などの資産設計プランをたてるもので、金融機関をはじめ、証券業、保険業等への就職に役立つものとして期待されています。また、パソコン講座では使用頻度が高い操作を中心に実務的な能力が身につくようカリキュラムが組まれているほか、秘書検定講座では、ふだん使わない敬語や言葉づかいに配慮するなど、秘書に限らず就職活動全般に役立つよう工夫がなされています。

当センターは現在、在学生中心の運営を行っており、例えはパソコンの広がりによって地域住民等からの問い合わせがあるなど、生涯学習への対応はその必要性を確実に増しつつあります。

この時代の要請に応えるべく、今後一層の充実を図りたいと考えておりますので、関係各位のご協力をよろしくお願いいたします。



Excel(表計算)の基本操作から検定試験合格まで、みっちり指導するパソコン講座

私の場合は普通と違い最初にある程度業界を絞りました。「最初から業界を絞らない方がよい」と言われていますが、私は絞ったおかげで志望動機が明確になりました。マニュアル本に出ていないようなやり方でなく、自分流のやり方で

就職活動において最も重要なことは、「自分」という人物をしっかりと把握すること。自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること

自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること。自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること

自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること。自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること

自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること。自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること

自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること。自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること

自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること。自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること

自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること。自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること

自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること。自分がどんなことに興味があり、アピールする点は何なのかという点を把握すること



元学長 石河英夫先生の ご逝去を悼む

商学部教授 藤永 弘

石河英夫先生の突然の訃報は、先生の指導を受けた私達にはこの上ない衝撃であり、深い哀しみでありました。先生と本学の関係は、本学創立以来で、札幌文科大学・札幌短期大学時代は兼任講師として、札幌商科大学・札幌学院大学時代は専任教授として、研究教育に携わってこられました。従って、先生は、本学創立以来の歴史を熟知され、本学に対して深い愛情を持たれ、本学の歴史と共に歩んで来られたと言えます。

先生は、昭和四十九年、小樽商大を定年退職と同時に、商学部の専任教授に就任され、爾来十数年にわたって在職され、その在職期間に学長職を二期務められました。学長在任時期は、札幌短期大学の発展的解消による札幌商科大学人文学

部の増設は、既設学部学科の充実と総合大学として研究・教育の充実、発展のために必要であるという学長見解を示され、学内意見の一致を図られました。本学が単科大学から文科系総合大学への道を歩むことができたのは、先生が本

指導者として、日本会計研究学会北海道部会の設立に努め、初代部長として十年間部会の発展と若手研究者の指導育成に情熱とご努力を払われました。先生の研究は、戦中・戦後の二十年代前半までは工業経済学研究が中心で、その後は、会計学の研究が中心になってお

休みください。今、私達は、二十一世紀に向けての大学改革・研究教育に取り組んでおります。先生の残された多くの知的財産を大切に、英知と力を出し合いながら、新しい大学の創造と、大学の社会的使命を担っていく所存であります。石河英夫先生、長い間のご指導、ご教示ありがとうございました。安らかに

おくりやみ
故石井 茂 先生

部助手、北海道教育大学札幌分校教授などを経て、昭和五十九年四月、本学人文学部教授として就任、教育原理などを担当されました。昭和六十一年から昭和六十二年まで就職部長として貢献され、平成二年に退職されるまで、主に教職課程で学生の育成にご尽力されました。

先生のご功績とご遺徳を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

エクステンションセンター 後期講座 充実のラインナップ

パソコン、秘書検定、ファイナンシャルプランナー

本学のエクステンションセンターは、在学生の資格取得・能力開発を支援し、就職に有利な条件を付与すること

を目的にこの春から開設されました。当初懸念された学生の関心度も、長引く経済不安に加えて、当センターが提供する即戦力的な講座、他機関

に比較して安価な受講料が注目を浴び、予想を上回る反響がありました。特に公務員講座は、わかりやすい資料と解説が好評で、受講した学生からは、「もう少し早く開設してほしかった」との声も聞かれるほどでした。

また、受講生の取り組みにも意欲が感じられ、先に行われた国内旅行業務取扱主任者の国家試験では、初挑戦にもかかわらず三十名の合格者を出す等大きな成果をあげています。(本学合格率六七%、全国合格率三五%)

十月からは、「パソコン講座」「秘書検定講座」「初級ファイナンシャルプランナー講座」を新たに開設し、講座の充実を図っています。このうち、初級ファイナンシャルプランナーは、日本ファイナンシャルプランナーズ協会の認定資格で、それぞれ事情の異なる個人の将来設計にあわせ

去る十月二十九日、本学五〇年記念館を会場に札幌圏での父母懇談会(二年生対象)が開催された。

当日は、学長・後援会副会長の挨拶に続き、教務部長・学生部長・就職部長・教務課長からそれぞれ、本学の教育

目標や大学での勉強の仕方、学生生活、就職活動、成績表の見方について説明があった。大学紹介のビデオ上映後、各学部の担当教員による個別面談に移った。

個別面談では、担当教員が学生の成績表を見ながら、これまでの修学状況を中心に学生との事前面談の状況などについて、父母への説明がなされ、また今後の大学生活等についての懇談を行った。二写真。就職相談コーナーでは就職課の職員が希望者からの相談を受けた。

父母からは、「このような快適な環境の中で修学できることをありがたく感じ、しっかりと学生生活を送ってほしい、疑問や不安を直接聞くことができた」といった好意的な感想が多く寄せられた。

今年度の父母懇談会はこれで全日程を終了した。来年度は、七月の地方青森市・函館市と十月の本学(二年生対象)を予定している。



去る十月二十九日、本学五〇年記念館を会場に札幌圏での父母懇談会(二年生対象)が開催された。



前列中央が筆者

私は現在、体育系特別クラブに所属しており、今年三月に開催された世界Jr.カーリング選手権カナダ大会に日本代表として出場、第2位(日本初メダル獲得)という成績を残すことが出来ました。予選を1位で通過し、準決勝、決勝に進みました。二十年余りという浅い日本カーリングの歴史の中でこの成績に本場カナダ人や発祥地スコットランド(イギリス)の人々も

して私達もとても興奮しました。決勝では、大観衆が私達に注目、またこの試合がカナダ全国に放送されたのでとても緊張したのを覚えています。TV解説者は、日本チームを紹介する時に驚くべき国が決勝にやってくると述べていました。それ程までに、日本が世界と互角に戦い決勝まで来たことに驚きを隠せなかったのでしょうか。表彰式で日の丸が強豪カナダやスウェー

デンと共に掲げられていく時、今までのプレッシャーや緊張感が消えていくと同時に、すごいことをしてしまったという感動が溢れました。今回の代表メンバーの中から私を含めた四人は今シーズンの日本代表に選ばれ、世界選手権大会出場国の権利獲得を賭け、十二月のパシフィック選手権大会に臨むことになりました。メンバーの中には長野五輪の代表選手も含まれ

夢はオリンピックピツク 日本初

世界Jr.カーリング選手権2位

人文学部英語英米文学科2年 小野寺 歩

全日本大学駅伝を終えて

陸上競技部 菊野 基



十一月一日、熱田神宮から伊勢神宮まで一〇六・八km、8区間をたすきでつなぐ全日本大学駅伝が行われた。

全日本に出場できたのは、八月三十日に秩父別町で行われた全道駅伝で勝利を収め、出場権を得られたためである。

我々駅伝チームが北海道を出発したのは十月二十八日、気温は15℃程であった。しかし名古屋は晩秋の季節である

にもかわらず、スタート時で既に北海道での最高気温と同じ程で、7区、8区を走る時には24℃まで気温が上が

り、他校との戦い、自分との戦い、その上に気候との戦いがあった。

当初、全日本での目標順位は過去最高順位の19位以内であった。それに向け本大会前の合宿では、朝夕を含め一日三〇km以上走り込み、チームの足りない部分である、距離

に対する不安を取り除いた。しかし、全国大会は想像以上にレベルが高く、結果は22位と納得のいかないものだった。

だが、収穫も多かった。1区〜5区までは目標としていた18位前後を走ることができ、6区以降も暑さの中最後まで自分たちのベスト以上のレースをすることができた。

選手をサポートしていた付き人も何か胸に残るものを持つ致しします。

て全日本を終えることができたと。我々はまた力不足のチームであるが、今年度の経験を栄養剤として、来年にはチーム全員が自分たちの目標、チームの目標を達成できるように努力していきたい。そして、それができるのが札幌学院大学駅伝チームだと思っている。これからも頑張っていきたいので、応援よろしくお願

自転車部

2年ぶり

国際舞台を経験

ツール・ド・北海道に出場

我々、自転車部は十七名の部員で、各自の目標に向かって練習に励んでおります。各自の目標は、ロードレース、トラックレースの自転車競技、最近流行の兆しを見せているトライアスロンやMTB、ツ

リング等様々で、各種大会で入賞、好成績を収めております。しかし、中でも特にロード選手が目標としている「ツール・ド・北海道」に、

洞井直也(経済三年)、中本浩二(経済一年)、吉川優(経済一年)の三選手が、北海道選抜に選ばれ、我が部から二年ぶりに出場を果たしました。

このレースは、北海道の広い大地を利用して一週間かけて走る、国内最高峰のレースで、海外5チームが参加する国際レースです。初日のプロローグは難なく通過しました

が、第1ステージは大雨(台風の影響で、中本が落車リタイヤという結果になりました。他の二選手は、第3ステージまで無事に通過しましたが、第4ステージ(室蘭)で疲労が蓄積していたせいからか、うように走れず、残念ながら札幌ゴールを目前にしてリタイアを余儀なくされました。

国際的なレースに参加して、日々強くなっていく姿を見るのと、選手達はとても良い経験を得たと思います。

最後に、大学関係者の皆様方のご支援があったからこそできた結果、経験に違いありません。それらを無駄にせず、精進していきますので、これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願致します。

自転車部副主将 経済学部三年 洞井 直也



ており、良い刺激になると思います。来年三月には、世界Jr.大会(スウェーデン)、翌月に世界大会(カナダ)が控えています。

カーリング競技は、一言では言い表せない程、難しいスポーツです。今回の様に、また日の丸を掲げる日を願って、そしていつかオリンピックの大舞台でプレーする自分を夢見て、努力していきます。

文芸部

実のある季刊誌へ

経済学部三年 洞井 直也

創立から十年、度重なる改訂を加えて私達が発行している季刊誌「FREE PARKING」も日々着々と実のあるものになりつつあります。

この冊子は部員全員があらゆるジャンルを問わず、自分自身が書きたいことを書いて、それをまた批評しあい、

今度の作品のレベル向上へのプロセスとし、その後の発行に活かしていくという目的としています。

文章を書いて発表していくという事は、なかなか難しいこと、それを人に読ませ、納得させるという点からは、まだまだ満足できないのが現状です。しかし、そういった現状を踏まえた上で文章力、描写力を向上させていくのが

最重要目的であると私達は考え、日々努力しています。今年度は部員数も三十余名、冊子も七十冊から百冊へと増刷しました。

更なる成長を遂げた「FREE PARKING」を皆様今後とも是非応援して下さい。後援者として下さるようお願い致します。

文芸部 経済学部二年 榎原 秀一



地域の子どもたちによるジャンケン大会

学生・地域・卒業生が

一体となった大学祭

をめざして

札幌学院大学大学祭は、学生の意志を支えられ、十月九日から十一日まで開催、今年度で28回目を数えることとなりました。

その屋台を支える大学祭実行委員会は、他のサークル団体とは活動形態を異にし、周年化されたものではなく、季節限定化された形式のもと、意欲ある者達が集い運営されています。

それが故に、前年度の反省がうまく反映し得ない等様々な問題点が生じますが、その反面、過去の例に捕らわれな

い、その年々による学生のニーズに合わせた開催が可能となり、ひいてはそれが大学祭における一つの特色を担い、現在に至っているものと考えています。

特に、ここ数年の開催ではその特色が全面的に開花し、大学祭という、ある意味において学生以外には閉鎖された祭りの中に、日頃からお世話になっている地域の方々、私達の先輩に当たる卒業生が本格的に参加する運びとなり、学生・地域・卒業生という、札幌学院大学を取り巻く全ての要素を網羅した、真の大学祭が形成されたように思います。

これから先も、在学生を第一に考え、その上で真の大学祭を目指し、努力を重ねていきたいと思っております。来年度以降も皆様の来場を心よりお待ちしております。

第28回大学祭実行委員会 実行委員長 佐藤 竜一